

人が輝き 活力ある街 豊田

ひあてこうすけ

日當 浩介

発行日:平成 31 年 4 月 吉岡

〒473-8501

豊田市高丘新町天王1番地

TEL:0565-54-1190

FAX:0565-54-1206

Kou.hiate@to.at-takaoka.co.jp

発行:ひあて浩介後援会

観光紹介 松平郷 松平東照宮 写真提供:ツーリズムとよた

市政レポート VOL.16



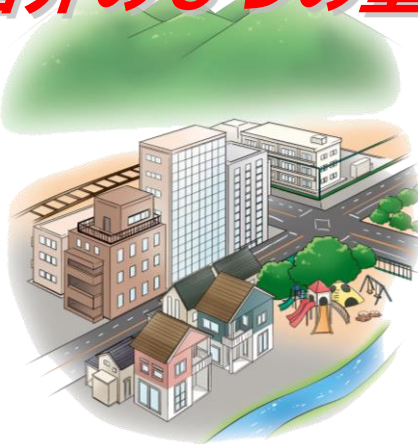
一日頃よりのご支援ありがとうございます。一春和の候、皆さまにおきましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

初当選から早4年が経過し、この3月議会が本任期最後の議会となりました。皆さまにご支援を頂き、さまざまな活動に取り組むことができました。ありがとうございます。新たな時代が始まる本年度は、豊田市にとっても大変重要な年であります。持続可能なまちの発展に向け、慎重・審議され可決しました内容について報告させていただきます。

また、4月21日に施行予定の統一地方選挙 豊田市議会議員選挙に2度目の挑戦をさせて頂くにあたり、引き続き皆さまの想いを形にする職務に邁進していく所存でありますので、皆さまからのご支援を賜りますことをよろしくお願い致します。

豊田市議会議員選挙2度目の挑戦に向けて!

ひあて浩介の3つの重点施策



希望と活力を 持てるひとづくり

将来に希望を持てるのが、明日への活力になると思います。特に、日本が直面している少子化の課題に対し、こどもを安心して産み育てられる環境整備を進めること。また、高齢化の課題に対し、高齢者が生きがいを持って健康増進を図れる社会環境を官民協力を促し進めていきます。

魅力ある 地域づくり

本市が持つ地域資源の魅力を高めるとともに、地域が主体となり強みを活かす行政運営や、持続可能な財政基盤の確立のため行財政改革を進め、豊田市の魅力を高める政策を進めていきます。

安心安全な まちづくり

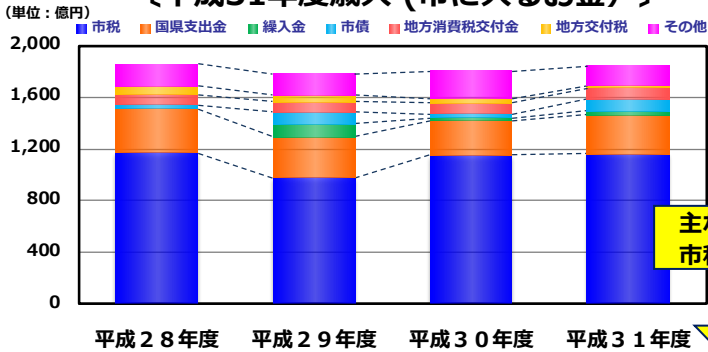
安心して暮らせるためには治安の維持・向上が必要です。行政・警察の組織強化を進めるとともに、市民と企業等が協力して犯罪の未然防止と交通安全活動の強化を推進します。また、災害に強いまちづくりに向け、市民の自助力の向上をベースに減災対策を進めます。

3月定例議会 豊田市一般会計報告

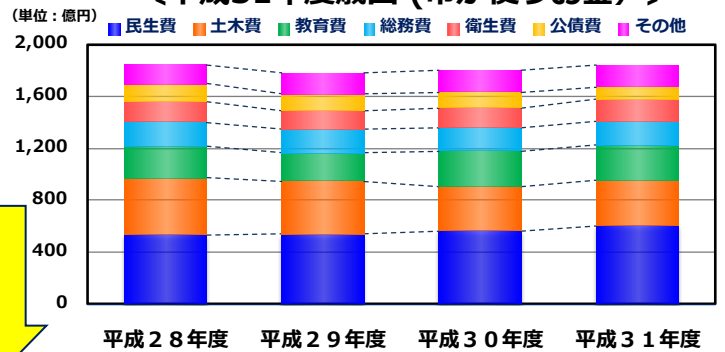
2019年度 豊田市当初予算が決定しました。

2019年度は「第8次総合計画」の着実な推進、少子高齢化や自然災害への対応など、市民の安全・安心な暮らしを守る取組を進めることに加え、ラグビーワールドカップ2019™の成功と開催を契機とした将来のまちづくりを進めることを基本的な考えとして編成されました。

〔平成31年度歳入（市に入るお金）〕



〔平成31年度歳出（市が使うお金）〕



歳入（市に入ってくるお金）

市税	市民の皆さまが納めるお金など
国庫支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
県支出金	主に貯金（基金）を取崩したお金
繰入金	国や銀行などから借りたお金
市債	地方消費税のうち県から配分されるお金（子ども医療費補助・こども園運営等）
地方消費税交付金	使い道が自由な国から入るお金
交付金	使用料などの手数料
地方交付税	
その他	

市税当初予算額の推移（単位：億円）

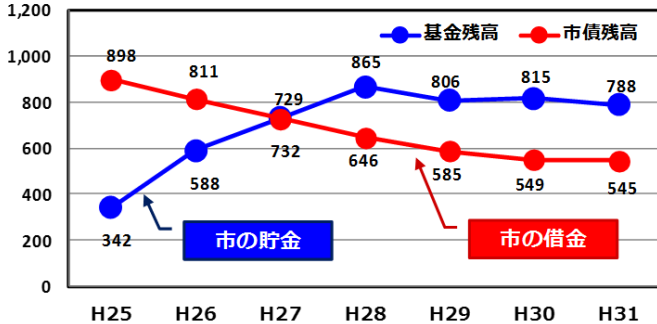
	31年度	30年度	増減
個人市民税	324	321	+3
法人市民税	278	311	▲33
固定資産税	411	376	+35

歳出（市が使うお金）

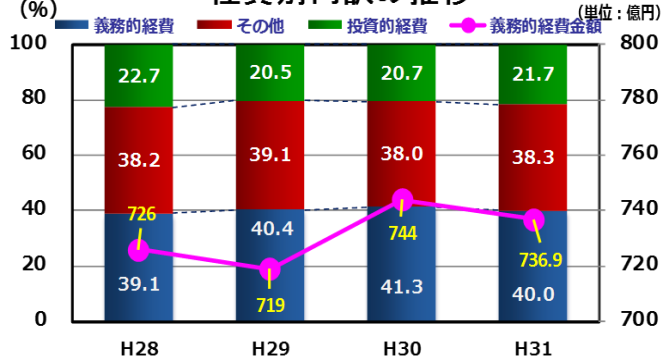
民生費	高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
土木費	道路や公園などを整備するためのお金
教育費	学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
総務費	地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
衛生費	病気の予防、ごみ処理・環境保全等のお金
公債費	借入金（市債）を返すためのお金
その他	消防費や商工費、農林水産業費

一般会計当初予算の総額は**1,843億円、対前年度+40億円 2.2%の増**。歳入では、市税が**1,164億円、対前年度8億円の増加の見込み**。歳出では、土木費の普通建設事業費で398億円、前年度比+26億円など。市債や基金を有効に活用し計画的なまちづくりへの投資を進める。

基金・市債<貯金残高と借入残高>



性質別内訳の推移



市債は元金償還額を超えない額とし、土地区画整理や公共施設の整備等に活用。基金は急激な経済情勢の変化等の対応に必要な残高を確保。割合の増加が運営の硬直化に繋がる**義務的経費**のうち、**人件費が正規職員等の増加により増**。扶助費が**保育の無償化の影響により増**。公債費は**大型事業の市債償還が終了し減少**。

【今後の財政見通し】

2021年以降地方税源の見直しにより、今後、**法人市民税率の一部国税化の拡大（2021年以降▲102億円）**地方交付税合併特例の終了などの影響による**収入の減少**に加え、**社会保障費や公共施設の管理費の増加**により、**恒常的に厳しい財政状況**になる。限られた財源を効果的かつ効率的に市民サービスの充実に還元出来るよう、**財務体質の強化と事業・事務の最適化の取組を進める**。

地方交付税合併特例の終了

普通交付税額の推移	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	65億円	62億円	48億円	33億円	18億円	6億円	0億円

2019年度の主な重点施策

将来の脅威に対して、早い段階から着実に手を打ち、発展の可能性に対して強みを延ばし最大限に生かすという視点を持って、取組を加速し優先的・重点的に施策を実施していく。

拡充	認知症高齢者等への支援 ：GPS検索機器の利用促進や初期集中チームの支援・若年性認知症の人の社会参加の機会創出。事故等で損害賠償責任を負った場合に備え、市が保険に加入
新規	(仮)訪問看護師人材育成センター開設 ：訪問看護師人材の確保・育成を図るため人材育成センター運営に負担金を支出
新規	子ども食堂運営支援 ：安定した活動の継続のため支援機能を拡充、団体等に対し食の安全面確保のため補助金を新設
新規 要望	山間地域の移動支援 ：高齢者を始め地域住民が快適かつ気軽に移動できる環境を構築する事業に負担金を支出
拡充 要望	豊田東IC周辺の産業用地創出検討 ：新たな産業用地創出のため、事業化に向け概略設計・土壌調査を実施
新規 要望	MaaS※1-Cityとよたの検討 ：MaaS社会の到来に備え、必要なモビリティサービスの在り方を官民連携で検討
新規	公道を活用した自動走行実証実験 ：自動走行の実証先進都市を目指し「自動走行実証」を公道で実施
拡充 要望	駅前道路の歩行者専用化の施行 ：歩行者専用化に向け、交通規制し公共空間でのにぎわい創出を行うとともに交通影響調査を実施
拡充	SDGs※2未来都市プロモーション ：エコフルタウンを情報発信拠点として、先進技術を活用した実証事業の取組やSDGsの係わる代表的な取組を国内外に向け情報発信
新規	子育て支援サービスの充実 ：産前産後に安心して出産・育児ができるよう、家事育児支援ヘルパー派遣や双子などの多胎児の妊婦への健康教室を実施
継続	児童虐待防止対策の推進 ：早期発見や早期対応のため、CAPプログラムを行い保護者に正しい知識の普及や教育を実施
継続	重症心身障がい者等への支援 ：医療的ケアが必要な重症心身障がい者等の在宅維持を図るため、医療型短期入所やグループホーム運営事業者の支援に補助
新規	発達障がい児・者の家族への支援 ：子育ての不安解消と当事者家族の相談の場、発達障がい子育ての情報交換会の実施
新規	気象情報サイトの開設 ：災害発生前に台風予想、雨量予想、河川水位など気象情報を観覧できるWEBサイトを新設
新規 要望	災害対策本部情報収集の強化 ：SNSに投稿された映像や画像をAIが解析し、有用な情報を抽出するシステムを導入
拡充	事故防止対策の推進 ：信号機のない横断歩道にLED点滅による歩行者を知らせる機器の設置や区画線・防護柵を整備
新規	MICE※3を活用したプロモーション戦略の検討 ：地域経済の活性化のためプロモーション戦略の調査・検討を実施
拡充 要望	市営公園への民間活力導入 ：鞍が池公園への民間活力の導入を目指し、事業者の公募、選定等を実施
新規 要望	コネクティッドカーの情報を活用した路面状況調査 ：路面状況の把握のため、コネクティッドカーによるデータの情報収集を実施しサービスの提供やまちづくりに活用



地域医療センターで訪問介護人材の育成



豊田東IC 産業用地の検討



公道での自動走行実験



子育て支援サービスの充実



コネクティッドカーの情報活用

要望：会派の政策要望が実現した項目 **MaaS**※1：クルマを様々なサービスの媒体として捉える考え方
SDGs※2：世界を変えるための17の目標（持続可能な開発目標）
MICE※3：多くの集客が見込まれるビジネスイベント



2019年度に向けた政策要望回答

平成30年8月24日（金）に2019年度に向けた政策要望として私たち市民フォーラム※1が行った要望に対し、平成31年2月8日（金）に太田稔彦市長より回答とそれに対する説明を頂きました。この要望は、皆さまからの声を豊田市の施策として反映させることができる重要な取組です。豊田市の重点施策の中でも紹介させて頂きましたように来年度予算にも多くの要望が反映されました。また、その他の主な要望内容と回答は以下に記載しております。

今後も引き続き、皆さまの声を反映できるように取り組んで参ります。



回答書を市長より受け取りました。



市長より回答内容について説明。



回答書受け取りにあたり市長より挨拶

主な要望内容と回答

※1市民フォーラム：トヨタ系市議10名で構成する会派

具体的要望	回 答
①防犯カメラの設置拡大に向けた取組強化	・自治区と協力し 犯罪抑止効果の高い設置箇所 の取組推進。
②確実な避難行動に繋げる取組	・ 情報収集の強化 ときめ細やかな避難情報の発令を行い、対象者が 取るべき行動を明確にした情報伝達 を実施。
③歩行者モデルカー活動の拡大	・ドライブレコーダーの事故映像を活用し 視覚的な啓発 など。
④自転車の安全利用に向けた指導の充実	・学校だけでなく 企業などへの指導拡大 のための指導員の 人材育成 と、警察の協力の下、 指導・啓発 の実施。
⑤小中学校のエアコンの早期設置	・平成31年 6月末までの設置完了 を目指す。
⑥保育師の労働時間削減に向けた行動計画	・事務削減の継続取組と ICT導入に向けた調査・研究 を行う。
⑦介護・福祉分野の人材確保・育成	・ 再就労支援 やEPA制度・技能実習制度も活用し人材を確保。
⑧介護・医療ロボット等の先端技術導入	・地域医療センターを拠点とし ロボット技術の活用 等を図る。
⑨オンラインで可能な受付業務の拡大	・市民の 利便性向上 に向け 対応を進める 。
⑩定住希望に応える宅地供給	・7つの区画整理事業と 市街化調整区域の運用指針見直し検討 。
⑪中心市街地の再検証	・中心市街地商業現況調査を基に 更なる検証 を進める。
⑫歳入確保に向けた取組	・広告事業の推進とクラウドファンディングも実施。
⑬AI・IoT・ビッグデータを活用した自治体業務の具現化	・ AI技術 を活用した総合案内サービスの 本格導入の検討 。AIやRPAによる 事務作業の自動化等の研究 。 コネクティッドカーなどのデータ を活用した実証事業による地域課題解決。

◆ひあて浩介へ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。

TEL：（後援会事務所）0565-54-1190 TEL：（携帯）090-8325-0769

○フェイスブック・インスタグラムで日々の活動をアップしています。

是非覗いてフォローして頂けたら幸いです。



Instagram

facebook

ひあて浩介

検索



※表紙の写真は「ツーリズムとよた」の許可を頂き、豊田市の観光地を紹介するページとして活用しています。